



CDR/CMR レコードのエクスポートの設定

この章では、CDR/CMR レコードのエクスポート方法と、エクスポートされたレコードの表示方法について説明します。

Cisco Unified Communications Manager CDR Analysis and Reporting の CDR メニューの [Export CDR/CMR] を使用すると、コンピュータ上の選択した場所に、CDR/CMR ダンプ情報をエクスポートできます。CDR/CMR ダンプは、CSV 形式で作成されます。エクスポートされたレコードのダンプを表示することもできます。

この章は次の内容で構成されています。

- [CDR/CMR レコードのエクスポート \(P.9-1\)](#)
- [CDR/CMR レコードのエクスポート結果の表示 \(P.9-2\)](#)
- [関連項目 \(P.9-3\)](#)

CDR/CMR レコードのエクスポート

次の手順では、CDR/CMR レコードをエクスポートする方法について説明します。

手順

ステップ 1 [CDR Analysis and Reporting] で、[CDR] > [Export CDR/CMR] を選択します。

[Export CDR/CMR records] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 [From Date] と [To Date] のドロップダウンメニューで、CDR/CMR ダンプの日付範囲を選択します。

ステップ 3 [Select records] で、CDR レコードと CMR レコードのチェックボックスのいずれかまたは両方をオンにします。

ステップ 4 [Export to File] をクリックします。

[Export CDR/CMR records Result] ウィンドウが表示されます。P.9-2 の「[CDR/CMR レコードのエクスポート結果の表示](#)」を参照してください。

追加情報

P.9-3 の「[関連項目](#)」を参照してください。

CDR/CMR レコードのエクスポート結果の表示

次の手順では、CDR/CMR レコードのエクスポート結果を表示する方法について説明します。

開始する前に

次の手順に進む前に、P.9-1 の「[CDR/CMR レコードのエクスポートの設定](#)」の手順をすべて実行してください。

手順

ステップ 1 [Export CDR/CMR Record Results] ウィンドウで、[CDR Dump] リンクまたは [CMR Dump] リンクのいずれかを右クリックします。

次のオプションで構成されるポップアップ ウィンドウが表示されます。

- [Open] : このオプションでは、CDR/CMR ダンプを含んだ Web ページを同じウィンドウ内に開くことができます。
- [Open in a New Window] : このオプションでは、CDR/CMR ダンプを含んだ Web ページを新しいウィンドウ内に開くことができます。
- [Save Target As...] : このオプションでは、CDR/CMR ダンプをコンピュータに保存できます。
- [Print Target] : このオプションでは、CDR/CMR ダンプ情報を印刷できます。
- [Copy Shortcut] : このオプションでは、Web ページショートカットをコピーして、別のファイルに貼り付けることができます。
- [Add to Favorites] : このオプションでは、CDR/CMR ダンプを Favorites フォルダに追加することができます。
- [Properties] : このオプションは、CDR/CMR ダンプ ファイルのプロパティを表示します。

ステップ 2 ポップアップ ウィンドウで、いずれかのオプションを選択します。

ステップ 3 CDR/CMR ダンプをコンピュータに保存する場合は、ダンプの保存場所を選択し、[Save] をクリックします。ダウンロードが完了したら、ダウンロードした場所で見つけて、開くことができます。

ステップ 4 CDR ダンプと CMR ダンプのいずれかまたは両方を削除するには、[Delete File] チェックボックスをオンにし、[Back] または [Close] のいずれかをクリックします。

ファイルが削除されます。



(注) [Delete File] チェックボックスをオンにしない場合 (たとえば、CDR や CMR のダンプ ファイルを削除しないまま残す場合)、バックグラウンドプロセスによってファイルが毎日 1 回削除されます。CDR や CMR のダンプ ファイルはサイズが大きいため、ファイルをローカル ディスクにダウンロードし、サーバからは削除して、サーバ側のディスク使用量を抑えることをお勧めします。

追加情報

P.9-3 の「[関連項目](#)」を参照してください。

関連項目

- [CDR/CMR レコードのエクスポートの設定 \(P.9-1\)](#)
- [CDR 検索の設定 \(P.8-1\)](#)
- [CDR Analysis and Reporting の設定チェックリスト \(P.1-17\)](#)
- [CDR/CMR レコードのエクスポート結果の表示 \(P.9-2\)](#)

